

NISHOGAKUSHA UNIVERSITY

二松学舎大学 大学院

GUIDE BOOK 2025



国際日本学研究科

国際日本学専攻

[修士課程]

国際日本学研究科

未来の研究者／企業人として、新たな視座の開拓を。

本研究科には、メディア学、観光学、哲学、美術史、歴史学、中国古典学、言語学、コミュニケーション学など、様々な専門分野の教員が在籍しています。3つの研究領域として「文学・文化学領域」「メディア表現学領域」「社会文化領域」を用意し、学際的な研究指導の体制を構築しています。

人・モノ・資本・情報がトランスナショナルに移動する「今」を見据え、日本文化の過去と現在を深く理解しつつ、多角的にそれを研究しうる人材、そしてそれを発信しうる人材の育成を目指します。



日本文化の理解に依拠し、
その越境的流通を研究する
未来志向の専門家を育成。

大学院 国際日本学研究科長
堀野 正人 教授

2022年4月、建学以来の伝統を受け継ぎ、東洋から日本を、そして日本から東洋を、おもに人文社会科学の視座から多角的に研究するための舞台として、国際日本学研究科が開設されました。

いま現在、私たちはインターネットの普及、そして各種ソーシャルメディアの普及を経て、人・モノ・資本・情報の「トランスナショナル」な移動が加速する時代を生きています。そして、そのますます流動化する社会の中で、文学・マンガ・アニメ・ゲームといった「コンテンツ」の流通や、そのファンたちが織りなす「ポピュラーカルチャー」の組成、さらには、全国各地で展開される「アニメ聖地巡礼／コンテンツツーリズム」の影響など、研究として取り組むべきテーマが続々と浮上しつつあります。

国際日本学研究科では「日本文化」「比較文化」「観光文化」などを専門とする多彩な教授陣による指導のもとで研究をすすめます。日本文化を中心とした東アジア地域文化研究を基礎として、グローバルな文化現象や文化情報の解説及び発信に関する高度な知識やスキルを修得し、自らが望む研究者としての／企業人としての未来をデザインすることができます。

学生メッセージ



修士課程

丁 潔 さん

私の研究テーマは「インターネットホラーにおける幽霊表象」です。「幽霊」とは古今東西さまざまな形でイメージ化されてきましたが、時代によって、あるいはメディアの変化によって、近年ではその表象も大きく変容しつつあります。私はその通時的な次元を視野に入れながら、あるいはその地域ごとの文化的差異を視野に入れながら、現代のデジタル環境下における幽霊イメージを多角的に分析するつもりです。

二松学舎大学では過去数年間にわたり「幽霊の歴史文化学」共同研究がなされてきましたが、私としてはそこに関与された先生方と今後も議論を重ねながら研究を続け、将来は研究者として活躍したいと考えています。



修士課程

范 勇志 さん

現代のCG技術の進展により、伝統的な彫刻活動がデジタル化された3D空間で行えるようになりました。ユーザーインターフェースの設計により、3DCG彫刻を行う際の複雑な身体動作がコンピュータ画面に統合され、ウィンドウやボタンとして表示されます。

私は、伝統的な彫刻活動と3DCG彫刻の身体動作を比較し、ソフトウェアのユーザーインターフェース設計が彫刻家の視線や身体の動きをどのようにデジタル空間で変換し、記号化するかの過程を研究しています。

国際日本学研究科では、多様な分野に触れることができ、メディア分野における自身の研究を深化させると共に、より広い視点からの学際的な研究の重要性を認識しました。将来的には、これらの知識を生かして、多角的なアプローチで研究を進めていきたいと考えています。このような環境で得られた多様な知識と経験は、今後の研究活動に大いに役立つと信じています。



修士課程

高 夕婷 さん

私の研究テーマは、「現代における御朱印に対するイメージ」です。大学院に入学後、日本の風土や人情を理解しようと御朱印を収集する過程で、その独特な文化に魅了され、研究対象に選びました。

かつて、印と墨書を組み合わせたシンプルなデザインが主流だった御朱印は、時代とともに大きく変容してきました。現在では、切り絵や刺繍などでデザインされたオリジナルの御朱印や、漫画とのコラボ御朱印も大きな話題になっており、新たな価値が評価されています。

御朱印の歴史的な変遷を扱ったこれまでの先行研究を踏まえ、現代の御朱印ブームの背景要因や特徴を明らかにし、人びとが御朱印に抱くイメージについて分析したいと考えています。

社会で活躍する修了生／修士論文一覧／開講科目一覧

社会で活躍する修了生



2023年度修士課程修了 呉 宇恒 さん

私は少年時代から日本文化、特にビデオゲームに興味を持ち、「百聞は一見に如かず」という言葉を胸に日本に留学しました。ビデオゲームについて幅広く学びたいと思い、最初は大阪でゲーム制作を学び、その後、二松学舎の国際日本学研究科に入学し、ビデオゲームを最新のメディアとして研究しようと考えました。

本研究科では、メディア、観光、比較文学など、多岐にわたる科目に触れることができます。また、多くの授業が学生主導のプレゼンテーション形式で行われるため、高い自由度を感じながら、日本語能力もしっかりと向上しました。さらに、ゲームに詳しい多くの教員に様々な分野から貴重な意見を頂き、研究の道を歩む上で大きな支えとなりました。たとえば、観光学の授業を受けることで、私は自分の研究においてゲーム体験を観光学の視点から分析する新しいアプローチを見つけ出しました。

現在、私は人材サービス業界の企業でセールスプロモーション部に所属し、営業職として働いています。二松学舎大学院での留学生活を通じて磨かれた能力と経験は、将来の挑戦や困難に直面する際に、情熱と勇気を与えてくれると確信します。

修士論文一覧

2023年度 修士論文題目

欧米のビデオゲームにおける「和風」―『Ghost of Tsushima』をめぐる考察を中心に―

妖艶と罪悪 ―増村保造と蜷川実花の映画における「悪女」のジェンダー論的考察

首都圏郊外におけるライフスタイル移住に関する研究

日本のアニメ作品における戦争表象の変遷 『火垂るの墓』と『この世界の片隅に』をおもな題材に

開講科目一覧

※科目名は2024年度のもので、2025年度以降は変更となる場合があります。

文学・文化学講座

日本芸能・文化論講義I
日本芸能・文化論講義II
比較文学文化論講義I
比較文学文化論講義III
比較文学文化論講義V
比較芸術学講義
文化人類学講義I
国際日本学講義I
国際日本学演習IA

メディア表現学講座

メディア論講義I
表象文化論講義II
国際日本学演習III A

社会文化論講座

都市文化論講義I
観光文化論講義I
歴史社会論講義I
国際日本学演習VA

国際日本学研究科のシラバス詳細はこちらから検索できます。



教員一覧

※2024年度の担当教員・担当科目等一覧です。2025年度以降は変更となる場合があります。

①最終学歴 ②専門分野 ③最近の研究課題

堀野 正人 教授／研究科長 ほりの まさと

担当科目 観光文化論講義I、国際日本学演習VA

①横浜国立大学大学院教育学研究科修士課程修了、修士(教育学)
②観光社会学、都市観光論
③都市における観光空間の表象・解説・パフォーマンスについて

塩田 今日子 教授／専攻主任 しおだ きょうこ

担当科目 比較文学文化論講義III

①ソウル大学校人文大学院博士課程単位取得満期退学
②言語学、韓国語学
③個別的事象に潜む全体性と互いに及ぼす影響について

中川 桂 教授 なかがわ かつら

担当科目 日本芸能・文化論講義I・II

①大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)
②日本芸能史(近世芸能興行史・寄席芸能史)
③近世大阪の諸芸研究、武家・商家の芸能享受

野村 啓介 教授 のむら けいすけ

担当科目 国際日本学講義I、国際日本学演習IA

①九州大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)
②西洋史学
③近代フランス政治社会史、日仏外交史、ヨーロッパワイン文化史

松浦 史子 教授 まつうら ふみこ

担当科目 比較文学文化論講義V

①東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了、博士(文学)
②中国古典文化・文学・図像学
③東アジアの王権と神話・祥瑞図の研究

足立 元 准教授 あだち げん

担当科目 表象文化論講義II

①東京芸術大学大学院美術研究科博士課程修了、博士(美術)
②美術史、視覚社会史
③社会派アートの実史

ヴィグル マティアス 准教授 ういぐる まていあす

担当科目 比較芸術学講義

①Université Lyon 3 - Jean Moulin Département de japonais
博士課程修了、博士(文学)(リヨン第三大学)
②近世日本医学史、亜欧文化交渉
③19世紀欧州東洋学者の国際ネットワーク

講師(2024年度)

松本 健太郎

仙石 知子 准教授 せんごく ともこ

担当科目 比較文学文化論講義I

①大東文化大学大学院文学研究科博士課程修了、博士(中国学)
早稲田大学大学院文学研究科にて論文により学位取得、博士(文学)
②中国文学・日中比較文化史
③日本における「列女伝」の展開、メディアから見た「三国志」

谷島 貫太 准教授 たにしま かんた

担当科目 2024年度は担当せず

①東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得満期退学
②技術哲学、メディア論
③ベルナール・スティグレールの技術哲学、哲学的概念としてのアテンション、接触のメディア論

土井 清美 准教授 どい きよみ

担当科目 文化人類学講義I

①東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)
②文化人類学、フィールドワーク論
③身体や自然における不確実性との向き合い方

林 英一 准教授 はやし えいいち

担当科目 歴史社会論講義I

①慶應義塾大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学、
博士(社会学)(一橋大学)
②日本史、東南アジア史
③残留兵士の表象と実像

麻生 将 専任講師 あそう たすく

担当科目 都市文化論講義I

①立命館大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)
②人文地理学、近代日本の地理思想とキリスト教思想
③近代日本のプロテスタント教会の立地と都市形成との関係について

楊 駿驍 専任講師 よう しゅんぎょう

担当科目 メディア論講義I

①早稲田大学文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)
②現代中国の文学・文化、日中比較文化、メディア論、ゲーム文化論
③小説、映画、ゲームなどの作品における「現実超越的」な想像力のあり方、
語学教育と文化批評の融合

入学から修了までの流れ



研究活動支援奨学制度について

国際日本学研究科における有為な研究者育成に資することを目的に、以下の通り、所属学生への研究活動の支援制度を設けています。

- 学会参加交通費支援
- 論文掲載料・投稿料支援
- 画像・図版引用料支援

都心の九段キャンパスで学ぶ

東京都心、そのさらに中心に位置する千代田区三番町。皇居周辺の桜や靖国通りの銀杏並木など、都心にありながら、四季折々の美しい佇まいを見せる街です。秋葉原や神保町の古書店街など研究に欠かすことのできない街も徒歩20分圏内に集中しており、研究に向かい合う環境が整っています。都心の九段キャンパスで歴史の息吹と文化の薫りを存分に満喫してください。



九段キャンパスの周辺環境

施設・設備



図書館(1号館)
約20万冊を収蔵。柏キャンパス(千葉県)の図書館は約14万冊を収蔵しています。



プレゼンテーションルーム(2号館)
多面プロジェクター、電子黒板が整備された次世代型学習施設です。



国際日本学共同研究室(5号館)
ディスカッションスペースと個人研究スペースを適切に設けております。



2024年度 国際日本学研究科の時間割

	月～金曜日	土曜日
2時限	10:50～12:20	10:50～12:20
3時限	13:00～14:30	13:00～14:30
4時限	14:50～16:20	14:50～16:20
5時限	16:40～18:10	—
6時限	18:20～19:50	—
7時限	20:00～21:30	—

※土曜日の科目は年度によって開講されない場合があります。
※2025年度以降の時間割は変更になる可能性があります。

履修形態

国際日本学研究科における教育は、指導教員による「研究指導」と授業科目の履修によって行われます。授業科目の選択・履修は、各自の研究分野に必要な科目を、指導教員の指導を受けつつ、行います。このほか、夏期・冬期の長期休業期間に集中講義を開講する場合があります。

多様な教育・研究制度

◎研究生

大学学部卒業者以上を対象とした研究制度です。特定の専門事項について研究を志願する者を選考のうえ研究生として受け入れ、研究指導を行います。

◎科目等履修生

科目等履修生とは、一般社会人等に対してパートタイムによる学習機会を拡充し、その成果に適切な評価を与える(単位認定する)ことを目的として設けられた制度です。

本大学院でも1科目または複数の授業科目の履修を希望する方を、科目等履修生として積極的に受け入れています。履修期間は原則として1年間になります。

2025年度入試情報

募集定員

課 程	入学時期	
修 士 課 程	4月入学	10名
	9月入学	10名

試験日程等

秋季試験(4月入学)	
願 書 受 付 期 間	2024年9月11日(水)～9月24日(火) 締切日消印有効
試 験 日	筆記試験・面接試験 2024年10月6日(日)
合 格 発 表	2024年10月18日(金)
入学手続締切日	2024年10月30日(水) 締切日消印有効

春季試験(4月・9月入学)	
願 書 受 付 期 間	2025年1月14日(火)～2月7日(金) 締切日消印有効
試 験 日	筆記試験・面接試験 2025年2月22日(土)
合 格 発 表	2025年3月3日(月)
入学手続締切日	2025年3月10日(月) 締切日消印有効

試験科目等

	試験種別	試験科目等
国際日本学 専攻	一般 外国人 留学生	○小論文 複数の専門領域の中から 1科目選択(60分) ○面接試験

出願資格

修士課程	
(A) 一般入試を受験できる者は、次の各号の1つに該当する者	
(1) 大学を卒業した者及び本学入学時までに卒業見込みの者	
(2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び本学入学時までに授与される見込みの者	
(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び本学入学時までに修了見込みの者	
(4) 文部科学大臣の指定した者	
(5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び本学入学時までに修了見込みの者	
(6) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び本学入学時までに修了見込みの者	
(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び本学入学時までに修了見込みの者	
(8) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者	
(9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本大学院国際日本学研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者	
(10) 本大学院国際日本学研究科において、個別の受験資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者	
〔注〕出願資格(9)、(10)で出願する者は、事前に本大学院国際日本学研究科の受験資格審査を受け、認定を受けることとする。	
(B) 外国人留学生入試を受験できる者は、上記(A)(3)に該当する者、又は上記(A)の入学資格を有し「留学」の在留資格をもつ者	

学費

修士課程				
	入学手続時に必要な金額	入学後指定期日までに必要な金額	入学年度に必要な金額の合計	備 考
入学金	250,000円	—	250,000円	本学出身者は無料
授業料	260,000円	260,000円	520,000円	
施設費	50,000円	50,000円	100,000円	本学出身者は半額
その他	11,430円	—	11,430円	本学出身者は6,430円
合 計	571,430円	310,000円	881,430円	

※2年次は授業料および施設費と、松委会(同窓会)終身会費15,000円を徴収します。
※学納金は春学期分は6月、秋学期分は11月に納入。

私費外国人留学生対象 授業料減免制度について

本学では、勤勉な留学生の経済的負担を軽減することを目的とした「私費外国人留学生 授業料減免制度」があります。減免額は最大で50%(授業料)となります。

1.対象について

本学大学院の正規課程に在学する私費外国人留学生(在留資格「留学」)で、出席状況、学業成績、家計状況等、定められた基準を満たす者。

2.減免する額について

- ① 新入生の場合 → 当該年度授業料の 30%
- ② 2 年次生以上の場合 → 当該年度授業料の 30%～50%

本制度の詳細は本学HP国際交流センターサイトよりご確認ください。

[二松学舎大学 留学生ハンドブック](#) で検索

2024年度 入試結果(秋季・春季試験)

試験種別	秋季試験		春季試験		合 計	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
一般入試	0	0	0	0	0	0
外国人留学生入試	17	9	46	11	63	20

※6月試験は除く。

九段キャンパス

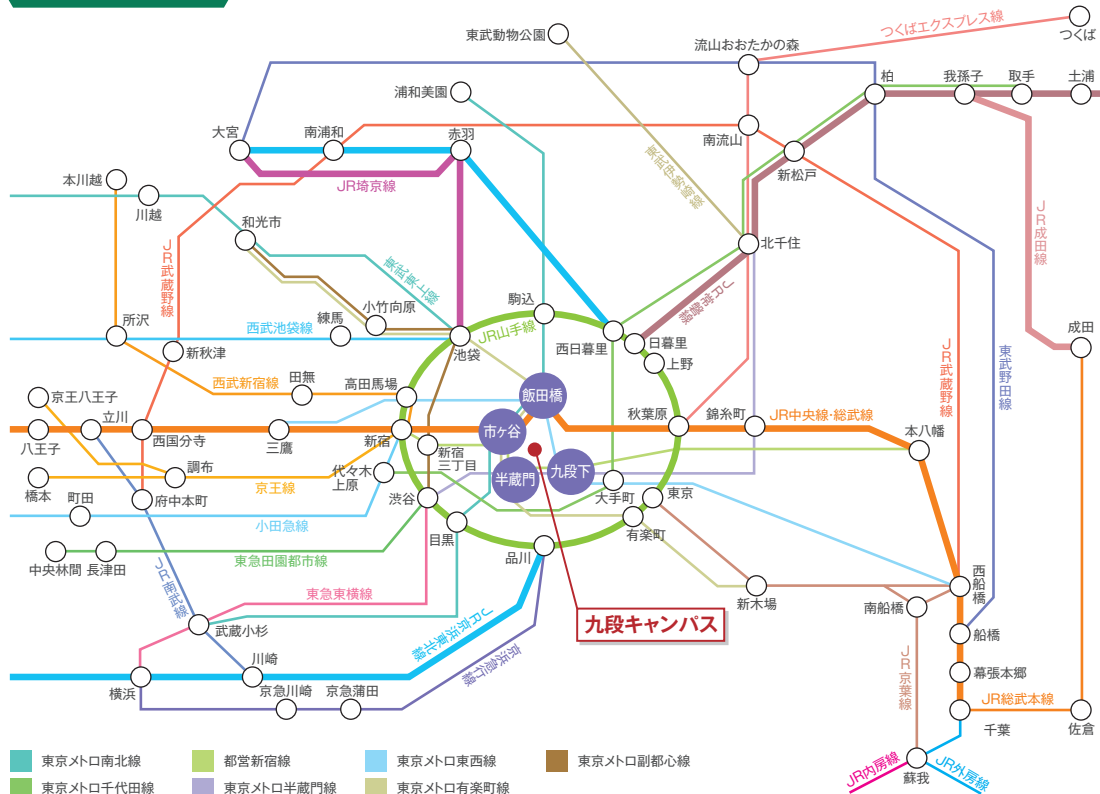
アクセスに優れた文化・経済の中心地で。

東京の中心、千代田区三番町に位置するキャンパスは、新宿・大手町・渋谷・池袋などの主要駅に30分以内でアクセスできる環境にあるため、貴重な時間を有効に活用できます。



- 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
- JR線・東京メトロ有楽町線・東西線・南北線「飯田橋」駅下車、西口より徒歩15分
- JR線・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線「市ヶ谷」駅下車、徒歩15分
- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅下車、5番出口より徒歩10分

Access Map



公式SNSで最新情報をチェック!

受験生サイト



公式 LINE



公式 Instagram



二松学舎大学

大学院／国際日本学研究所

お問い合わせ 入試課

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16
TEL.03-3261-7423 FAX.03-3261-8904
E-mail: nyushik@nishogakusha-u.ac.jp

ホームページ <https://www.nishogakusha-u.ac.jp/admission/>

